

ねつちゆうせい し
熱中性子

■ 用語解説 ■

中性子が物質中で原子核と衝突を繰り返して減速され、その運動エネルギーが常温での熱運動のエネルギー 0.025 電子ボルト程度になったもの。また一般に、エネルギーの小さな中性子をさす。核に吸収されて核反応を起こしやすい。